

かぞ須馬尺新聞

祝 開業 120周年

今年9月6日に開業120周年を迎えた加須駅は、東武鉄道伊勢崎線の駅の一つで、北千住から久喜間の次に開業した区間の駅です。駅の出口は駅ビルのある北口と北口の後に開設された南口のある駅です。120周年を迎えられたのは、単にそこに駅があっただけということではなく、駅員や地域の皆様に支えられて迎えられたということでもあります。私達は、この機会に加須駅を題材にした新聞を作成してみようと思いました。

難読駅名

「加須」は「かぞ」です

新聞を作ろうと思ったきっかけが駅名が正しく読まれないということがあります。なので新聞の題字もあえて、ひらがなで「かぞ」と書くことにしました。新聞を読んでもう一度くださった皆様へ、是非加須(かぞ)をよろしくお願いします。

どんな町かわかる駅

加須駅を訪れた人たちに町のイメージが伝わる様町の特産品を展示しています。このほりや武道具等が飾られています。訪れた人がどんな町だろう

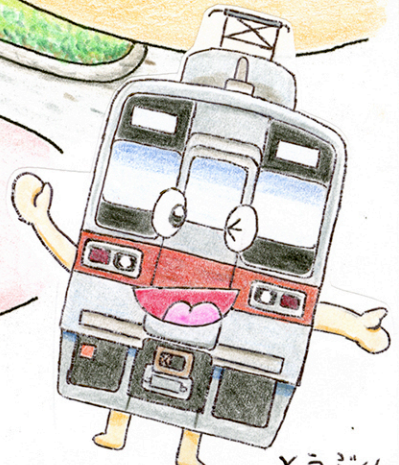
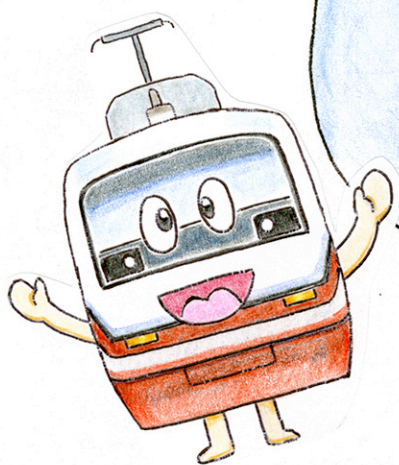


発行日 令和4年9月8日
 発行者 美広貴 喜軌彌 貴美恵 新山

駅にかつてあった店

昔、加須駅を利用していた人にお話を聞くことができました。30年ほど前は、駅北口側のビル内にゲームセンターやファーストフード店があったそうです。

加須駅を探検して見つけたよ!



上りのホームには地元産業の特産品が展示されています。

と興味やキッカケになる貴重な展示スペースです。また、南口ロータリーには駅周辺の様子が見えます。案内板が設置され、町を散策するときの参考にもなります。右の駅イラストに場所と写真のせてみたので参考にしてみてください。

病院が駅のそばに

駅南口の新たな発展

今年の6月1日から加須駅南口徒歩10分の場所に済生会加須病院が移転してきました。できたばかりの病院と駅の間にはお店などはありませんが、今後、駅と病院を中心に様々なお店が新しくできて、町が発展していくのではないのでしょうか。



編集後記

私達の自宅のそばにある加須駅は、電車に乗る為の通過点のような場所に感じていました。しかし、この新聞を作ってみると、いろんな見どころや特徴があることが分かりました。そして、訪れる人に町のイメージを伝える場としての役割があると思います。駅員と地域の皆様の支えで、今の駅が成り立っていると思うと駅のことを身近に感じられました。これからも発展していく町と駅が鉄道を利用する人、たまに利用する人にも時代の変化に合わせて、暮らしていく上で便利なサービスを受けられる場所になっっていくと信じています。